

しなやかな思考を育てる感性教育の一考察

- 感性教育に関する中高校アンケート結果分析を鑑みて -

池田紀子(前啓明学園中学・高等学校部長)

[I]はじめに

源氏物語「もののあはれ」、枕草子「をかし」は平安の薫り高い作品の理念である。当時の文化をあらわす代表的なこれらの作品は、平安人の感性が著されているものであり、現代の日本人の感性に通じるものである。感性は世界各国共通のものであるが、それぞれの国自体の感性があることは、環境や文化の違いがあることから事実であろうが人間だけに与えられた物であることも事実である。

さて、混沌としている現在の世界にあって将来を担うべき青少年の感性はどうであろうか、今回、「感性教育を考える研究会」を立ち上げ今後の学校教育および社会における感性の「はぐくみ」をどうしたらよいか研究を開始した。まず、全国の学校での感性に対する考え方や感性教育の実態をアンケート調査という手法で始め、関東、東海地方の学校640校近くにご意見を聞いた。結果240校から回答を頂き、分析した。各学校とも様々な方法で何とかして感性豊かな子供たちを育てようとの努力があり、他の学校の手法を学びたい、教師の感性を磨かねばならないといった意見が多く、研究会の使命も重く受け止めたいとの結論に達した。

また、最近、あらゆるジャンルで「感性」の必要性が問われている。例えば経済分野では、「株は感性で」、工業関係では、「物作りの感性」、経営面では、「感性のある経営者」、そしてもちろん教育、「教員の感性」等々、つかみ所のない曖昧模糊としているこの「感性」の定義は色々なところで様々な解釈がなされ使われているようだ。「感性」とは何か、情操とか教養とかとの違いがあるのかなのか、感性は環境や教育から育むことができるか、また育むものではなく天性のものなのだろうか。ますます研究課題が増してきている。

[] アンケート質問事項

1. 各学校の「感性教育」について

生徒の感性を引き出し育むために組まれている教育課程の内容について

2. 1. の活動開始の動機 3. 活動費 4. 費用負担方法 5. 活動の担当者

6. 生徒に受けさせたい感性教育の夢

7. 研究所開催の研修会への意見 企画内容 実施時期 実施場所

[] アンケート結果

1. 各学校での取り組み

まず、「芸術鑑賞」やはり様々な文化芸術関係の鑑賞が圧倒的に多いことがわかる。感性を育む方法として本物に接することの大切さをどの学校もまず考えるところであるようだ。現代劇舞台・ミュージカル・映画・オペラなどから、古典芸能歌舞伎・能・落語などプロの演じるものを本物の劇場で鑑賞させる場合と学校に招聘し体育館などで鑑賞させる場合とがある。まさに視聴覚教育から感性を引き出そうというものである。また、「美術館・博物館・芸術館見学」を行っている学校も多い。美術館でのワークショップも行い絵画からの感性を培うものである。

次に「国際交流」による感性教育、海外で、他国の文化や風習に接しコミュニケーションを豊かにすることを大切に学ばせる。方法として、語学研修・修学旅行・帰国生や留学生受け入れ・姉妹都市交流など様々だが広く世界を受け入れて視野を広くすることで感性の豊かさを身につけさせることの大切さを重視するところも多い。

「ボランティア活動」により一人ひとりの感性を促す手法も多くの学校で見られる。地域清掃・病院、老人ホームなどでの奉仕、楽器演奏・募金活動・植林ボランティア、ある工業高校では車いすの修理をし「空飛ぶ車いす」と文字通り修理した車いすを東南アジアなどに送っている。車いすを必要とする海外の人に思いを馳せ真剣に取り組む高校生の感性は素晴らしいものである。

「校内音楽会」はほとんどの学校で行っているが生徒全員によるオーケストラや地域も一緒にクリスマス大合唱を行うところもある。

「自然体験」自然とのつながりを重視し自然から学ぶ感性教育が各学校の取り組みから見られる。フィールドアスレチック・サイクリング・林間学校・里芋、サツマイモ作りなどの農業体験から土に接し自然の恵みに感謝できる感性の育成、醤油造りや労作教育の大切さを教える教育を行っている学校も多くある。自分たちの使う校舎の清掃も業者に頼む学校もある昨今、トイレ掃除なども生徒自身の手で直接清掃させる学校は「これぞ感性教育」という意見である。また、登山・ハイキング・乗馬教室・競歩大会・スキー教室・磯観察・飯盒炊飯等に加えてエコ観察や校内にある樹木札の設置、世界の名画を校内廊下などを始めいたる場所に展示をしたり校庭内の整備に励んだりなどの工夫、ISO14001を取得し、学内でのリサイクルにつとめ生徒の自覚が環境問題に敏感になっている例もある。

「宗教活動」は35校の学校が回答しているが、私立学校では宗教色を建学の精神にしているところも多く宗教活動からの感性を育むことがわかる。聖歌隊ハンドベル演奏での施設訪問であったり修養会や殉教学徒慰霊祭であったりとそれぞれの活動に違いがあっても各学校の持つ宗教から様々な活動がされ、その行事の中から感性の涵養がなされる。

「職業体験」からその生徒の持つ感性を考えている学校も30校ある。今、進路指導では早くからのキャリアガイダンスが言われ、自分の感性にあった職業選びが始められていることから職場企業訪問・職場体験が行われているようだ。

「講演会」講演者に知名人や保護者・卒業生を起用し生徒の感性に響く話を聞かせる学校が多い。

テーマは文化・福祉・教育など様々であるがその道に精通した先輩の話を聞かせることによって生徒たちの多くが自分に置き換えて追体験をすることが大切であろう。保護者にあらかじめ自分の専門を登録してもらい講演者としてお願いをし、生徒たちの感動を呼んでいる例は多くあろう。その他、戦争体験者による聞き書きや生徒たちが実際に弁論したり、メッセージを送ったり自分の考えを述べる場を多く作り同世代の友人の意見を聞く機会を作っている学校もあるが、大切なことである。その他授業に取り入れる華道・茶道・箏・や百人一首・礼法マナー・座禅・読書会・武道・アロマセラピー・朝のクラシックなどそれぞれの学校の取り組みは多岐にわたっている。

しかし、感性教育は日常的なものであり取り立てて何をするというものではない・心の教育ということで「感性」というよりも「愛情」や「心」なので特別なことではない・「人のお話しをしっかりと聞くこと」・教育課程に位置づけられているものは全て感性を引き出し育むものとして実践しているという回答もいくつか見られた。

2．活動の動機

上記のような活動の動機になったことを聞いたところやはり、「教育方針の実践」・「情操教育の必要」・「建学の精神の指針」・「教育理念の具現化」・「一流の芸術家、生の芸術に接すること」・「国際感覚の体得」・「ボランティア精神の体得」・「人間力を身につける」・「個性尊重」・「日本人としての価値観自覚」等が多い意見であるが、「中高6年間一環を機に」・「コース立ち上げを機に」・「中学校併設を機に」・等の学校組織変革を機として感性教育についての行事を考えた学校、「授業改革の一環」・「総合的学習として」などの授業改革を契機とした学校また、「自己の将来設計のための実体験」や「他者への気配り」等様々であるが全体的に創立当初から学校の方針で行うところが多いようだ。しかし、少子化の折りから「入試対策」や清掃活動などは「地域の誘い」であったり、「文化祭の質を高めるため」という対外的に考えるとところからの発想もあるようだ。

3．活動費

活動費用に関しては、大体の学校で一つの行事あたり3000円以下であり、プログラムによっても違いが生じている。国際交流に使う場合は修学旅行や語学研修ではかなりの費用負担で論外である。ここでの質問は観劇などの金額が主であったが、かなりバラバラである。5000円以上という催事もあり歌舞伎座などの観劇では弁当込みで5000円ということもある。

4．費用負担に関して

全額生徒負担が圧倒的に多く98校が回答した。中には半額生徒で後は学校負担残りはPTAより負担、全く生徒負担なしも数校あった。

5．活動担当者

芸術科担当者・視聴覚担当者・学校行事担当者・図書担当者・学年、教科・総合学習担当者など様々だが校長・教頭、全教員・企画により異なるという学校もある。

6. どのような感性教育を受けさせたいか、「夢」を聞かせてほしい。

「各ジャンルの本物に触れさせたい」が圧倒的に多く、その中には優れた芸術や人物に接することで心を豊かにさせたいと願っている学校が多い。知的好奇心を喚起するもので芸術的な体験・活動の充実に努めたいと考えている。もちろん日本文化の深い理解のための一流芸術家による公演やワークショップー一流本物の体験、本気で取り組ませることの大切さを感じている。一流の演奏家と共演できる内容、演奏家との触れあいから学ぶプログラムの開発、講座形式でなく五感、特に味覚や触覚が感じられるような内容のプログラム作り、コミュニケーションをのばせるような感性教育の充実などの新しいプログラムの作成。また、「生徒たちが自らの力で生き活きと創作活動の場を作るを体験する参加型」で外国との交流・福祉教育・自然との共生・協同生活体験などがあげられる。「宗教的な情操感覚に基づく自然や人間を大切に感性を育みたい」ということで生命尊重や人間本来の姿に立ち返りゆったりとした人間関係を築く場所を作っていきたい。世界平和と隣人愛、思いやりに結びつく機会を持たせたい。感謝する気持ち、理性の奥にある感性を刺激することを自然に身につけさせる。等々沢山の「感性育てる夢」を各学校の現状にあわせて聞くことが出来た。現状で満足・特に夢なし・現在充実など解答頂けなかった物を含め60校に上った。(これらはごく一部であり、アンケートの結果は全体のまとめとして研究所のホームページに掲載の予定であるので参照してほしい。)

7. 研究所主催研修会への要望

過去6年間にわたり研究所主催の感性教育研修会は参加人数が不足、現在休止になっているわけであるが、研究会としてこれからの企画を立てて行く上での希望や参考意見を聞いた。「各学校の取り組みを知りたい」・「各学校での実践例を聞きたい」・「本物を題材にしたユニークな前例の紹介がほしい」・「教員の」心を磨く講座の開設」・「個人の中に眠っている感性を目覚めさせるワークショップ」・「感性教育の基本的講演が聴きたい」・「真に豊かな人間性を育てるための教育課程について」など沢山の意見要望があった。

これまで感性教育研修会の知らせ方法が必ずしも適当でなかったことは反省であるし、要望の中にも折角送られてきてもどの分掌に紹介したらいいか迷うことが多く改善の余地があるとの指摘も納得できる。ただ、以前の参加者からは高い評価をもらっているのも事実であることから今後ホームページなどを使い出来るだけ浸透させるよう努力したい。

研究所で研修会を行う場合の時期として、圧倒的に8月夏休みの希望が多い。いつでも良い・学年度末・企画に会わせて随時などの時期もあるが、いずれにしても先生方の出やすい時期を設定するのが良いと考える。

実施場所は都内がトップだが企画にふさわしい場所を選ぶのが良い・京都、大阪等関西地区や県単位、地区ブロック単位での実施の希望も出ている。

[] 終わりに

アンケートの結果から見えてくるものは何か、各学校とも生徒の感性をいかにしたら育むことが出来るかの工夫がよくわかる。単に芸術的なものを鑑賞させれば済む問題ではないこともよくわかるが、アンケートに寄せられた要望では、実践している例を知りたい、実際に実施している先進的事例を紹介してほしい等の意見が多く見られどの学校もなかなか決定的なプログラムの作成には苦労があるようだ。本物と接したい、鑑賞だけでなくワークショップも取り入れてほしい、教員の感性を磨かなければ生徒の指導が無理であると言ったご意見に後押しされて今後の「感性教育を考える研究会」でのテーマは明確になって来たことは収穫である。今後、本研究会ではテーマに沿って研修会をシリーズ化していく方針である。

第1回は4月5日に歌舞伎と能のコラボレーションということで国立能楽堂の「マクベス」舞台公演と出演者とのワークショップを実施する。「授業が変わる、自分が変わる」というキャッチフレーズで歌舞伎役者から声の出し方所作を学ぶワークショップである。声の出し方一つで生徒の注意を引きつけることが出来るか、教員が変われば生徒も変わる、楽しい学校生活を過ごすヒントを見つけてもらえたら良い。今回は年度初めて先生方がいそがしいとき、保護者や生徒も一緒に楽しめるようになってきている。東洋と西洋の和合が演じられる舞台をそれぞれの持つ感性で鑑賞してほしいと企画したものであり、今回を契機として今後いろいろな工夫をしていく予定である。もちろん芸術鑑賞のみでなく広い視点で「感性教育」を作り上げていく自信でいっぱいである。

生まれつきみんなが持っている良い感性を大人になって摩滅させないようどこかの時点で、あるいは日常的に意識させていかなければならないと感じる。学校教育の中で無論学力を上げ、知識をつけさせることが大切ではあるが、人間が生きていく上に大切なものは何かしっかりと見定め、将来の社会を担う青少年に平和で明るく豊かな人生を送ってほしいと願わずにいられない。

夕日の沈む色に、本の芽の息吹に、鳥の声に、道ばたの草花の一本一本に、かすかな風の音に敏感な心になり、その時々風景や人とのつながりに感謝する心、これらが「感性」。今、「お母さん、聴いてみてウグイスが鳴いてるよ。」の当時5歳の息子の声に「今忙しいからあっちに行ってて。」と言ってしまった昔の自分を思い出しながら苦笑を禁じ得ないし、「なんて感性のないことよ。」と反省しきりではある。若いお母さんが、手を引きながらも車が通る側に子供を歩かせている姿は、やはり「感性」のあるなしの問題かと考える。ちょっとした心の持ち方、思いやりの心、これが感性の大切な定義なのではないだろうか。

最近、日本人の精神構造はダブルスタンダードと言われる。イエス・ノーをはっきり言わず、「はい、でも」といってしまう。もしかしたら、この曖昧さが日本人の感性かと感じるのは変かもしれないが、もともと婉曲用法が発達している日本においてはこれも「感性」なのだろうか。

アンケートから見えてきたもの、見えてこないもの、まだまだ研究課題は山積である。

感性教育についてのアンケート回答集計

240校(回答率 38%)

[1] 1. 貴校の「感性教育」についてお尋ねします。
生徒の感性を引き出し育てるために、どのような教育課程を組まれていますか。その内容(活動の名称・実践時期・実施内容など)と貴校独自の取り組みや工夫についてご紹介下さい。

<u>芸術鑑賞(視聴覚)教室</u> (歌劇・ミュージカル・音楽会・映画・オペラ・モンゴル民俗音楽など)・(歌舞伎・能狂言・文楽・邦楽・落語・京劇などの古典芸能)のうち プロの演じる公演は ・学校に招聘する場合 ・外部劇場にて鑑賞の場合がある (芸術劇場・宝塚・劇団四季・新橋演舞場・歌舞伎座・国立劇場など)	212校回答
<u>国際交流</u> 語学研修・修学旅行・留学生受け入れ・姉妹都市交流・帰国生受け入れ (アメリカ、イギリス、カナダ、オーストラリア、イタリア、アイルランド、フランス、インド、ハワイ、サイパン、オーストラリア、中国、東南アジアなど)	78校回答
<u>ボランティア活動</u> インターアクトクラブ・地域清掃・海岸清掃・病院などでの楽器演奏・車いす修理 へ・募金活動・植林ボランティア	70校回答 東南アジア
<u>校内音楽会</u> 生徒全員(オーケストラ含む) クリスマス大合唱(地域で生徒600から700名参加)	38校回答
<u>自然体験</u> フィールドアスレチック・サイクリング・エコ体験・林間学校・里芋作り サツマイモ苗植え収穫・競歩大会・登山・飯盒炊さん・磯観察・スキー教室・乗馬教室・樹木札設置など	35校回答
<u>宗教活動</u> 殉教学徒慰霊祭・聖歌隊ハンドベル演奏訪問・修養会	35校回答
<u>職業体験</u> キャリアガイダンス・職場企業訪問・うどん作り・醤油造りなど	30校回答
<u>講演会</u> テーマ(文化6 福祉3 教育2など) 講演者(知名人・保護者・卒業生)・英語スピーチコンテスト・ 私のメッセージ(国語科主催)・弁論大会・戦争体験聞き書き	15校回答
<u>農業体験</u> 醤油造り・労作教育	11校回答
<u>博物館、美術館、芸術館見学</u> 美術館でのワークショップなども	10校回答

環境学習

10校回答

世界の名画校内展示・校庭整備

その他

華道・茶道実習講座（授業）	11校	箏	2校
百人一首大会	2校	古都散策	1校
読書会（読書、読書週間）	6校	宿泊研修	4校
礼法	4校	武道	2校
座禅教室	2校	自己開発プログラム	5校
マナー教室	5校	ダンス（コンクール）	3校
朝の音楽（クラシック）・アロマテラピー教養講座		・静思会	心の教育（総合学習時間）

具体的でなく次のようなご意見もありました。

教育課程に位置づけられているものすべてが、感性を引き出し、育むものを実践している
 学校環境、特に自然環境に配慮 清掃の徹底、トイレを手で洗う
 心の教育ということで「感性」と言うよりも「愛情」や「心」なので特別なものではない
 宗教教育行事の中で人の話を聞くことは大切な感性
 感性教育は日常のもの

2. 1. の活動を実施される動機となったことをご紹介します。

教育方針の実践	31校
情操教育の必要	20校
一流の芸術家・優れた本物の芸術・生の芸術に接すること	11校
建学の精神	10校
社会性の育成、自立	9校
人間力、社会力をつける 社会性 全人格的成長を促す 人間形成	9校
教育理念の具現化	8校
宗教的情操を培う（全人教育のため）	8校
感性を引き出す	8校
「総合的な学習の時間」導入	7校
学校行事から教師、生徒共に学ぼう	6校
長い学校の歴史・伝統から	6校
社会、地域に学校をアピール	5校
創立者の考え	7校
ボランティア精神の体得・社会奉仕幅広い人間に・空飛ぶ車いす活動福祉について考えさせる	5校
国際社会にむけて感覚を身につけさせる	4校
授業改革の一環、私学として特色ある教育をする	
福祉について考えさせる	
社会に貢献できる女性の育成（女子校）	3校
国際コース・英語コース設置・立ち上げ	3校
教養を高める	2校
教養講座開講	2校
キャリアガイダンスの必要性から	2校
東京都ボランティア活動推進校としての活動	

自然の中で体を思いっきり動かす機会を与える 2校
 個性尊重
 自己開花の時期にする
 自然に対する直接的な働きかけ、共同作業の大切だという議論から
 文化祭の質の向上を図る
 ISO14001 取得
 地域からの誘い（清掃活動）
 修学旅行を単なる旅行とせず課題学習としてそこから感性を引き出すこと
 日本伝統文化の継承
 中学校併設を機会に
 中高6年一環英才教育立ち上げ
 日本人としての価値観自覚
 自己の将来設計のため実体験を
 道徳性高めたい
 農業の大切さ教示
 マナーアップ
 報恩感謝
 入試対策
 他者への気配り

3. 活動費は生徒一人あたりどのくらいですか。

3000円以下 45校 3000～5000円 25校 5000円以上 42校 その他 44校
 プログラムにより差がある 例 歌舞伎教室弁当付き、宿泊研修その他講座教室など
 修学旅行海外・留学
 記述なし 22校

4. 費用負担の方法はどのようですか。

全額生徒負担 98校 半額生徒負担 15校 全額学校負担 17校
 その他 27校 負担なし・生徒会・後援会・PTAより補助
 記述なし 19校

5. 担当者はどなたですか。

図書担当者 4校 視聴覚担当者 10校 芸術科目担当者 22校
 その他 75校
 学年行事担当者・教務課・部顧問・学級担当・有志教師・教頭関係のある分掌・宗教教育担
 当・芸術鑑賞委員会・校長（心の道場）・養護教諭・実行委員会・生徒会担当・全教職員・総合
 学習担当・各学年・生徒指導部・土曜講座担当・講堂運営委員会・各部担当者・教科担当・キ
 リスト教活動委員長・学園長・法人・国際交流担当・企画により異なる
 記述なし 14校

6. 「生徒にこんな感性教育を受けさせたい。」という夢をお書き下さい。

各ジャンルの本物にふれさせたい

29校

優れたものの芸術や人物に接する事で心豊かに
知的好奇心を喚起するもの
芸術的な体験・活動の充実
日本文化の深い理解
社会で活動活躍している人の体験談
古典芸能鑑賞
地域の伝統芸能の導入
オーケストラ鑑賞
福祉活動を必修に
発見や驚きの中から女性としてのマナーや振る舞いを身につけるものを
一流本物の体験させたい本気でやっているものを見せたい
一流の芸術家による講演やワークショップ

子供たちが自らの力で生き活きと創作活動ができるような場をつくってあげたい。体験・参加型

29校

様々なジャンルの体験をさせたい
今取り組んでいることの充実
自然の中でいのちの大切さを学ぶ農業体験からいのちの大切さ成長の喜びを学ばせたい
成功の哲学・主体変容・常に前向きな生き方
自然との共生、大自然に触れる機会
福祉教育（心の教育）
表現能力を大切に、P.A（プロジェクト・アドベンチャー）手法導入
鍛錬学習を通じて忍耐、協調性、思いやりをつけさせたい
読書を通じた言葉の広がり気づくような豊かな情操
協同生活体験（サバイバル体験のような）
生活そのものがアートのような空間での教育
中国など東アジア諸国との交流が課題

超一流の芸術家の活動に触れさせたい。

9校

一流の演奏家と共演できる内容、演奏家との人間的なふれあいから学ぶようなプログラムの研究がしたい
講座形式のものではなく、五感、特に味覚や触覚が感じられる内容、驚きと感動にあふれつつ問題意識の残るもの
参加型
基本的生活習慣の上に情操教育
クラス単位での合唱、器楽演奏の体験など集団がまとまる体感させたい
コミュニケーション能力を伸ばせる感性の教育

宗教的な情操感覚に基づく自然や人間を大切にしている感性を育みたい。

生命尊重 言葉だけでなく生命を大切にしている行動とは何か自ら実践行動できる社会人育成を目指す
人間本来の姿に立ち返りゆったりとした人間関係を築く場を設定したい
定期的に美術館巡り・音楽鑑賞・観劇・良書購読・講演会などの体験
芸術教育の発表の場を充実させたい
広い視野を持って活動できる人間の基礎となる心の育成プログラム

絵画や芸術鑑賞とともに行事・クラブ・体験学習通して感動の場与えたい
ある人を援助出来るような生徒の育成
建学の精神を実践できるような感性教育を受けさせたい
世界平和と隣人愛、思いやりに結びつく機会を持たせたい
世界平和、環境保全の諸問題について考えさせる
思想や信条での差別なくし思いやりの心を持って困難な状況に
愛と感謝と尊敬の気持ち高める
人に対しての意識、自分の存在意識物の背景には人がいることを意識を
生命尊重の感性を養う
家に飾る花、ポスター飾り方講習会
人間は他人とつながっていると肌で感じさせる
キャリアガイダンスプログラム整備中 職業や経済の仕組みの学習で社会の一員としての貢献する心育てたい
森林体験・地域ボランティア・文化祭における表現活動の充実
公共心、向上心の欠如を感じる
他者への思いやりとマナーの育成
知と情のバランスよく身に付くように
感謝する気持ち理性の奥にある感性を刺激するような
喜怒哀楽を表に出せる感情の育成
自然に身につけさせたい
芸術鑑賞の持続（進学ばかり強調される昨今）
3年間のプログラムありそれにそってやっている教師間も心の交を
個人を大切にする。人間にとって本当に大切なことは何かを伝えるような感性教育を
沢山の生徒に対して効果的な手法という視点で何かないかむしろ参考にさせてもらいたい
教師保護者とも感性をのばせる教育活動
感性、情操育むのは特別なところでなく日常の関わりにある。限られた条件の中での行事がきっかけになれば良いと思う
集計結果楽しみにしている
対人スキル、共感や向社会性を身につけるワークショップ
何かをするというのではなくすべての教育活動の中で行われるべきもの
社会との関わりを実感できる企画体験させたい自分を表現できるように
生徒数多くいつも受け身、もっと体験させたい
五感を目覚める感動体験の経験多くさせたい
感動する体験不足から規範意識の低下もみられるので一つのことが生まれるプロセスと本物に接する機会作りたい

人生を豊かにする話や社会に出てからの心構えの講演

すぐに結論でなくてもここに深く残るもの
多面的な捉え方ができるよう、他者への理解配慮できる資質高めたい
異文化理解
地域の戦争体験者の話
日本古来の伝統文化および国技鑑賞
リーダー養成活動通して人間性高めたい
他人の心の痛みわかるような人間の育成
美しい自然の中で堅実で信頼のある環境 自然の中にヒントある
オペラ作成発表
川を作り蛍を育てる
演劇を取り入れた授業や講座

社会の一員としての人材育成

感動する心育てたい 感謝報恩の心と実践

感性よりその基本となる道徳教育に力を入れたい
特別なものかえって不必要 行事の自己満足は良くない
読書の習慣読み聞かせ音読通じて命の大切さ尊厳学ぶ
本当の意味での個性身につけたい
感性豊かに育まれる環境作りが第一
努力して地位築いた人の話を聞く
道徳観、倫理観を向上させる感性教育受けさせたい 受験でなく道徳教育の復活第一歩
アジア、アフリカの子供たちの現状を知り、日本が当たり前でないという何かに目覚めさせる教育
自然に触れる外界の刺激により命の大切さを知り教育体験を
弱者を大切に、障害者・高齢者大切にすること育てたい・物事に素直に感動する心育てたい

その他

現状で満足・特に夢なし・現状で充分・現在は充実
回答なし(特になしを含む)

60校

- [2] 日本私学教育研究所主催 全国私立中学高等学校「感性教育研修会」についてお尋ねします。
1. 企画内容についてのご希望をお聞かせ下さい。
 2. 実施時期はいつ頃がよいですか。
 3. 場所(研修地)についてご希望をお書き下さい。

1. 企画内容についてのご希望をお聞かせください。
各学校のとり組を知りたい。実践の現場みたい、実践例を知りたい
学校生徒が変わったと言う実践例の報告会を
昨年のような企画
教員が多く参加できるように
教師の心磨く講座
教科名をはっきりさせて参加しやすいように
理想ではなく現実的なもの
「本物」を題材にしたユニークな前例の紹介
中・長期的にいろいろな企画を
私学教育における感性教育の必要性、重要性を知る具体例の研修
その道で名を成した人の話を聞きたい
芸術の鑑賞、作品製作実習
寺院、城など建築技法の見学
高齢者の介護実習、施設の見学
個人の中に眠っている感性を目覚めさせるワークショップや実施指導等
テーマをしばり、ポイントをはっきりとさせて欲しい
東京でないとできないものではなく、会場も時には地方で
現在の子供にかけている感性の洗い出しとそこに切り込む手法やあり方の追求
企画を校内のどの部署に紹介すべきかが迷うのではっきりと
従来実施してきた研修会で、なぜ人が集まらなくなってしまったのか分析をすることが大事
感性教育研修会には大変興味がある

他人に奉仕する心、家庭教育の重要性についての話聞きたい
以前参加収穫があった。ますます良い研究会に
はっきりと感性教育とわかる具体的なものがほしい
きっかけとなる感性教育
体験を通して本物とふれるような研修会を望む
実際には学習指導、生徒指導が主体で感性教育に考えが言及できない現状がある
感性教育の定義が不明確で共有された言葉になっていない。カウンセリング研修などで統合した
展開だとわかりやすい。
学校生活全般で感性の涵養目指したい
感性教育の基本的講演を聞きたい
参加したことなかったが今後啓発受けたい
他校の実践状況のみならず、その問題点を把握したい。また、生徒が直接的に参加できる企画を
望むとともに芸術鑑賞の紹介や複数校共催による文化施設での大規模事業も必要。
形にこだわらずいろいろな人の感性にふれる企画
真に豊かな人間性を育てるための教育課程について
感性教育の具体的事例について聞きたい
2年前の京都での狂言、香のような講座望む
各地方独自の芸能も良いのではないか
教師自身が本物にふれる良いプログラムを
鑑賞、中身の解説、勉強会など組み合わせての実施
感性教育の先進的事例紹介
実験的、体験的 農業、自然体験など
演劇を取り入れたもの
本物を知る機会を多くして欲しい
国内外の学校で実施されているものの発表
感性を育てるならまず教員の技量向上先決、カウンセリング、教育法などの研修が第一ではないか
視野を広げた企画
ユニークな企画の学校実践報告
京都散策、異文化研修、有名人講話、映画、演劇
人生観的内容の研修会
感性教育の実践例 十代の心理、情緒、今後の方向性を探るための方策

記述なし 93校

2. 実施時期は何時頃がよいか

5月 5校 6月 7校 7月 4校 8月 37校 10月 5校 11月 3校
いつでも 秋から冬 学年度末 授業見学できるとき 企画に合わせて随時
1月～2月 特になし 87校

3. 実施場所(研修地)希望

都内 40校 市ヶ谷 5校 横浜 4校 八王子 2校 関東内 3校
名古屋 3校 京都 3校 大阪 3校
その他 地方に、県単位、地区ブロック単位 企画にふさわしい地域3校
2000人程度収容の大ホール、感性教育なら自然豊かなところ 全国各所で 北海道、韓国、
沖縄 せっかく良い企画でも平日の昼間ではなかなか伺えない
特になし 84校